

12月は人権月間

国連では12月10日を「世界人権デー」と定めています。我が国では、昭和24年からこの日を最後とする一週間を「人権週間」としています。本校でも12月2日(月)～13日(金)を人権旬間と位置づけ様々な取組を行っています。

取組1・人権学習(12月4日<水>授業参観)

<年間計画に沿ったものを行いました>

取組2・なかよしのちかい振り返り

<生活振り返りカード>

取組3・ありがとうの木

<優しい行いを花に書いて掲示>

取組4・心のアンケート(2学期)の実施

取組5・教育相談(アンケートをもとに個人面談)

取組6・人権集会(12月13日<金>)

取組7・保護者啓発<学校便り・学級便り>

人権の花運動の仕上げとして子どもたちが育てた花の種を風船につけて飛ばしました。鹿児島県の伊佐市・湧水町、宮崎県の都城市から『届きましたよ』の電話を頂きました。

交流活動の動きから

◎熊本県立天草支援学校

〇11月22日(金)

にっこり交流(1&4年生)

本校に小学部の皆さんに来てもらい、1年生とは教室で秋をテーマに服をデザインしてもらいました。4年生とは体育館の横でさつまいもを焼きいもにしてみんなで美味しくいただきました。



◎豊田市立則定小学校

ふるさと
正三みち



矢並小学校と交流する際に訪問する則定小学校から「ふるさとの史跡といいつたえ『正三みち』」の冊子と5&6年生からの手紙が送られてきました。本年度の交流記「かけはし」がやがて完成しますので、則定小学校へも送りたいと思っています。

社会を明るくする運動推進大会 天草市教育力活性化推進大会

戦場カメラマン、フォトジャーナリストの渡部陽一氏が「家族の絆～世界100ヶ国以上の家族と過ごした時間～」と題して講演をされました。内容は世界中の戦時下にある国の子どもたちの人権がいかに踏みにじられているかということを訴えるものでした。日本は平和で子どもたちは「学校へ行くことが当たり前」、「一日三度食事するのが当たり前」ですが、世界を見るとそうではないのだということを認識し、これから日本が進むべき道を考えていかなければいけないと思います。今のところ、本町小学校では人権侵害の被害は報告されていませんが、どんな危険が潜んでいるか想定外のこともあります。私たちも24時間見守ることは不可能です。やはり自分の命は自分で守るのが基本になります。年末年始は危険がいっぱいです。そのため学校での指導に加え各家庭でのご指導もよろしくお願いします。

本町の宝を守り抜きましょう！

児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験

文部科学省の「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験(芸術家派遣)」事業に応募したところ、ありがたいことに決定(3年目)を頂きました。芸術表現体験活動を取り入れたワークショップ型の授業を展開するもので、東京から柏木 陽氏(3年目)地元から3名の講師(江崎俊一氏・松下麻美氏・本田由美氏)をお迎えして前半(11月12日～14日)を行いました。後半は12月17日～19日までの予定で実施します。対象学年は2年生と4年生です。

4年生



2年生



い活ばみ
ま動いん
しにでな
た。参積元
加極気
し的い
てにっ

